

ほくろ

ほくろとは？

ほくろは色素性母斑と言われます。
大きさは小さなものから大きなものまで様々で、
中には毛が生えたりするものもあります。
小さなほくろは悪性化することはあまりありません
が、大きくなると悪性化のリスクは高まります。



種類、原因

まず大きく分けて生まれつきのもものと、後からできてきて大きくなるものがあります。
またその組織学的な違いから、境界型、真皮型、複合型に分けられます。
原因ははっきりわかっておりません。
後からできるものは、日焼けや様々な刺激などが原因と言われています。

治療法

レーザー治療か手術治療となります。
小さいほくろはレーザー治療、大きいほくろは手術治療となることが多いです。
将来的な傷跡を予想して、できるだけ目立たない傷跡になるような治療方法を選択します。
初めての方は5～6個程度をおすすめします。

目安の価格

保険（手術治療）と自費（レーザー治療）に分かれます。

保険（手術治療）

以下の値段は3割負担でのおおよその手術金額となります。この金額以外に麻酔代や病理検査（顕微鏡による検査）が3,000円程度、お薬代が500円程度かかります。

○顔面や首、頭、肘～手指先、膝～足趾先の部分

2 cm未満：5,000円程度

2～4 cm未満：12,000円程度

4 cm以上：14,000円程度

○上記を含まない部分（体や肩～肘の上、股～膝上）

3 cm未満：4,000円程度

3～6 cm未満：10,000円程度

6 cm以上：13,000円程度



自費（レーザー治療）

単発性のもものは2個まで22,000円、1個増えるごとに+5,500円となります。

見た目を重視して行うため腫瘍をギリギリで取ります。

もし半年以内に再発した場合は、レーザー代無料で再度治療をさせていただきます（診察代や薬代はかかります）。



きずときずあとのクリニック

形成外科・美容外科

次回のご予約は
LINEから簡単
に行なえます！



Q&A

Q、ほくろの除去は保険でもできますか？

A、当院では保険での治療が可能です。しかしレーザー治療は自費治療となります。どちらがよいかは医師と相談の上で決めることができます。

Q、手術やレーザーにかかる時間はどのくらいですか？

A、手術は麻酔時間も入れて30分ほど、レーザーは15分ほどです。

Q、レーザーのほうがきれいになると聞いたのですが？

A、小さなほくろの場合、レーザー治療を行うことが多いです。小さなほくろは傷跡も小さいのでそのように言われることが多いです。場所やほくろの大きさによっては手術をしたほうが将来的な傷跡はきれいになることもあります。そこは医師が判断して一人一人にあった治療法を提案させていただきます。レーザーも白い凹んだ傷跡になります。

Q、手術後に気をつけることはありますか？

A、手術後は創部の安静が一番大切です。その日は自宅でゆっくりとされることをおすすめします。また飲酒や激しい運動は1週間程度は控えてください。1～2週間程度のガーゼ保護が必要となります。

Q、お化粧品はできますか？

A、手術をした部位以外はその日から化粧が可能です。手術部位は1～2週間程度でお化粧が可能になります。

Q、レーザーのあとはどのくらいで治りますか？

A、レーザーで焼いた部分はキズパワーパットと呼ばれるハイドロコロイドの絆創膏を貼っておきます。治るまでには2～3週間くらいかかります。

Q、大きな傷跡が残るか心配なのですが..

A、できるだけ目立たない傷跡になるように配慮して手術を行います。当院は傷跡も専門に治療するクリニックになります。手術後の傷跡まで責任をもって治療を行います。

Q、合併症はどんなものがありますか？

A、出血、バイキン感染などがあります。また傷跡がかたくなったり盛り上がったたりすることもあります。

Q、また再発することもありますか？

A、再発はまれにあります。特にレーザー治療での切除後は再発率は高くなります。

Q、肥厚性瘢痕が心配です..

A、唇や鼻の周り、体や四肢は肥厚性瘢痕になるリスクが高いです。



きずときずあとのクリニック

形成外科・美容外科

次回のご予約は
LINEから簡単に
行なえます!

